

ふもと 織姫山の麓から

法玄寺報
第39号
令和2年春

阿久津家、相田みつをさんの作品を寄贈

毛野新町の阿久津さんが、相田みつを先生
のろうけつ染の作品を当山に寄贈しました。
作品の後ろには、「1961. 夏、相田みつを
作」と、相田みつを先生のサインがあります。
今から60年近く前の作品で、借宿に住んで



相田みつを先生のろうけつ染

いた時に制作したため「借宿浪人」と記して
います。当時相田先生は借宿に住み、自分の
書体を求めて努力していました。その後、八
幡町に引っ越してアトリエを構え、詩人にし
て書家として本格的に作品を制作しました。
借宿浪人と自嘲的に名を記した初期の作品は
稀であり、その意味で大変貴重です。

一九六一年四月には、ガガーリンが世界初
の宇宙飛行をして「地球は青かった」と言っ
て、世界中で話題になりました。このろうけ
つ染は、このガガーリンの言葉をもとに、小
さなことにこだわらず、人間らしくゆったり
生きようという相田先生の思いが込められ
ています。

作品をいれた額の
背面には、制作年と
相田先生の名前が直
筆で書かれています。
貴重なので表装しま
した。



相田先生の直筆



焚火で焼き芋・七輪で餅を焼く会

現在、子供の貧困は大きな社会問題です。そこで当山では、お盆やお彼岸の時に多くの檀家の方からお菓子を頂くので、母子家庭の家族が暮らしている「さわらごハイム」にお菓子を届けてきました。また秋になると、墓地にはたくさんのお木が落ちます。そこで、母子家庭の子供たちを招いて、落ち葉で焼き芋を作ることをつきました。

このことを佐野で幼稚園をやっている従兄弟に話したところ、七輪で餅を焼くことも提案されました。そこで、昨年の12月14日の土曜日、午後2時から「焚火で焼き芋・七輪で餅を焼く会」を行いました。

商工会議所の会頭になられた世話人の相馬さんは福祉ヤクルトとして福祉活動



焚き火で焼き芋を作る住職

をしているので、寄付をお願いしたところ快く5万円の寄付をしてくださいました。世話人の荒井誠司さんに、焚火で焼き芋を作る鉄板と鉄網をお願いしたところ無料で作っていただきました。また檀家の宮本武さんは、サツマイモ20キロを提供してくれました。檀家の方々の協力にあらためて感謝したいと思います。

実施にあたり、江川町で子供食堂をしている高沢友佳里さんと清風高校のボランティア部の生徒3人にも協力していただきました。さわらごハイムの子供たちの日程が合わなかったため、泗水学園に声をかけたところ子供たちが喜んで来てくれました。また一般家庭からも2家族が参加しました。

せっかくお寺に来てくれたので、本堂に上がってもらい法然上人の塗り絵をしました。その後、境内で焚火をして焼き芋を楽しみました。それから七輪で餅を焼きましたが、用意した餅がすぐになくなりました。これからも、将来を担う全ての子供たちが喜ぶような活動を、檀家をはじめ多くの方々と協力して行っていききたいと思っています。



七輪で餅を焼きました

相馬稔さんが商工会議所の会頭に

当山の世話人の相馬稔さんが、足利商工会議所の第12代の会頭に就任されました。当山としてもたいへん誇らしいことです。

相馬さんは昭和33年生まれで、今年61歳。栃木県はもとより全国の商工会議所の中でもたいへん若い会頭です。他の4人の副会頭のうち3人も60歳以下という非常にフレッシュな陣容となりました。

相馬さんは、皆様ご存じの通り両毛ヤクルトの代表取締役社長です。ヤクルトは、会社として「福祉ヤクルト」の名で福祉活動を行ってきています。足利の商工業はもとより、福祉の分野においても活躍していただきたいと思います。

期待しています。
なお当山も昨年度、足利商工会議所に加わりました。1月8日（水）には商工会議所



商工会議所の新聞、友愛より転載

の新年会が開催されました。任職も参加して、相馬会頭の発声のもと乾杯に加わりました。

台風の被害への寄付

最近では御朱印ブームで、当山にも御朱印を請けに来る方がかなりいます。御朱印代については玄関に箱を置き、災害義捐金とパウチした用紙を掲示して、これに入れて頂きます。また寺主催の様々なイベントを行った際にも、「無料ですが被災地に送るので、義捐金の協力をお願いします」と伝え、賽銭箱に入れるようお願いしました。これまで集まった義捐金を、被災地に送ってきており、近年は、熊本地震の被災地に送りました。

昨年の10月、台風19号により足利市でも大きな被害ができました。多数の家屋が浸水したほか、農作物にも大きな被害が出ました。足利市では義捐金を受け付けているので、今回は足利市に義捐金を送ることにしました。さる1月23日に住職が市役所に赴き

一三一、一四四円を直接渡しました。



御朱印代を入れる箱に、義捐金と書いてあります

法玄寺

春の野点と 雅楽を楽しむ会

境内で野点を行い、本堂で雅楽の演奏会を開催します。

雅楽は日本の伝統的な音楽で、
宮中や社寺の儀式で演奏されてきました。

うらかな春のひととき、

野点と雅楽で優雅にお過ごしください。

服装も自由で、無料でどなたでも参加できます。

日時

4月29日(水)

2時 境内で野点

3時 本堂で雅楽

場所

法玄寺(織姫神社の東)

会費

お抹茶とお菓子は200円

雅楽の演奏は無料

どなたでも参加できます

駐車場

境内には関係車両しか

駐車できません

両毛新聞側駐車場

織姫神社前駐車場

足利大学本城キャンパス駐車場

小倉医院前駐車場



箏(ひちりき) ◆中村仁美さん

東京芸大卒業の箏奏者。
国内はもとよりパリやニューヨーク
などでも公演を行う。昨年度より
足利雅楽会の講師を務める。



笙(しょう) ◆中村華子さん

国立音楽大学卒業の笙演奏者。
雅楽団体、俗楽舎のメンバーとして
国内外で演奏活動を行う。